

たかなしもとぐらのきだん

《高梨元蔵基壇》

この万年塀の向こう側は、現在、歴史館駐車場となっている。そこは、高梨家の最も古い蔵・元蔵があった場所である。元蔵には何棟もの建物が並び、蔵人たちが寝起きしながら、宝印醤油などを仕込んでいた。

大正6年(1917)に野田醤油会社となった後も第十一工場(のち改組により第十二工場第二作業場)として醤油醸造の一翼を担ったが、現在は建造物は取り壊され、この基壇に面影を残すのみである。

展示棟の屋敷絵図を見ると元蔵の様子が分かります。万年塀がなかった時代... イメージしてみましよう。